

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	国語	グループ名	3類型AC	
ねらい	(1) 生活に必要な国語に関する能力を育成する。 (2) 相手や目的に応じて話をしたり、相手の意図を汲み取りながら聞いたりするなどコミュニケーションの基本的な力を付ける。 (3) 正しい文章の書き方や、文章の概要や要点を読み取れる力を身に付ける。			
担当教員	○薄田 文子			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「ひとりだちするための国語」(日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	自分のことを 伝えよう① インタビュー しよう	4	○自己紹介、他己紹介 ◆目的や場に応じた話し方ができる。 ◆要点を落とさないように話すことができる。 □評価表を利用し、他己評価を行う。	
6 7	説明文や広告 を理解しよう 表現力を高め よう①	5 3	○説明文・広告・新聞を読む ◆いろいろな語句、文、文章を読み取る。 □ワークシートを利用する。 ○丁寧な言葉(丁寧語・尊敬語・謙譲語等)の活用 ◆お礼状やはがきが状況に適した言葉で書ける。 ◆手紙や日記などを目的に応じて正しく書ける。 □副教材やプリントを利用する。	
9	自分のことを 伝えよう②	4	○夏休みの出来事の発表 ◆要点を落とさないように、文章をまとめることができる。 ◆手紙や日記などを目的に応じて正しく書ける □簡単なメモから、体験に基づき言葉を付け加え、文に仕上げる。	
10 11 12	地方の言葉や 文化に触れよ う 表現力を高め よう②	6 5	○地方の方言や民話等の読解 ◆地方によって言葉の違いのあることを知る。 ◆話し手の意図や気持ちを考えながら話の内容を適切に聞き取ることができる。 □ICT機器やプリントを利用する。 ○公共施設の利用申請書や申込書の作成 ◆記述項目に応じて正しく記入できる。 ◆あて名書きや差出人の書き方を理解する。 □実際の申請書などを利用し、書き方に慣れるようにする。	
1 2 3	俳句を創作・ 鑑賞しよう 自分のことを 伝えよう③	4 4	○俳句や短歌の創作と鑑賞 ◆いろいろな語句、文及び文章の内容を正しく理解し、読み取ることができる。 □プリントやICT機器を利用して学習する。 ○3年生の生活についての発表 ◆いろいろな文章を、相手や目的に応じて適切に書いたり、発表したりすることができる。 □作文メモを利用して発表などをする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	国語	グループ名	3類型BD	
ねらい	(1) 生活に必要な国語に関する能力を育成する。 (2) 相手や目的に応じて話をしたり、相手の意図を汲み取りながら聞いたりするなどコミュニケーションの基本的な力を付ける。 (3) 正しい文章の書き方や、文章の概要や要点を読み取れる力を身に付ける。			
担当教員	○三田 敬一郎			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「ひとりだちするための国語」(日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	自分のことを 伝えよう① インタビュー しよう	4	○自己紹介、他己紹介 ◆目的や場に応じた話し方ができる。 ◆要点を落とさないように話すことができる。 □評価表を利用し、他己評価を行う。	
6 7	説明文や広告 を理解しよう 表現力を高め よう①	5 3	○説明文・広告・新聞を読む ◆いろいろな語句、文、文章を読み取る。 □ワークシートを利用する。 ○丁寧な言葉(丁寧語・尊敬語・謙譲語等)の活用 ◆お礼状やはがきが状況に適した言葉で書ける。 ◆手紙や日記などを目的に応じて正しく書ける。 □副教材やプリントを利用する。	
9	自分のことを 伝えよう②	4	○夏休みの出来事の発表 ◆要点を落とさないように、文章をまとめることができる。 ◆手紙や日記などを目的に応じて正しく書ける □簡単なメモから、体験に基づき言葉を付け加え、文に仕上げる。	
10 11 12	地方の言葉や 文化に触れよ う 表現力を高め よう②	6 5	○地方の方言や民話等の読解 ◆地方によって言葉の違いのあることを知る。 ◆話し手の意図や気持ちを考えながら話の内容を適切に聞き取ることができる。 □ICT機器やプリントを利用する。 ○公共施設の利用申請書や申込書の作成 ◆記述項目に応じて正しく記入できる。 ◆あて名書きや差出人の書き方を理解する。 □実際の申請書などを利用し、書き方に慣れるようにする。	
1 2 3	俳句を創作・ 鑑賞しよう 自分のことを 伝えよう③	4 4	○俳句や短歌の創作と鑑賞 ◆いろいろな語句、文及び文章の内容を正しく理解し、読み取ることができる。 □プリントやICT機器を利用して学習する。 ○3年生の生活についての発表 ◆いろいろな文章を、相手や目的に応じて適切に書いたり、発表したりすることができる。 □作文メモを利用して発表などをする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	総合的な探究の時間	グループ名	3類型	
ねらい	(1) 季節や地域社会に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識、技能を身に付け、個々の実生活に活用していく。 (2) 課題の解決に向けての仮説を立てたり、まとめたりすることを通じて表現力を身に付ける。 (3) 各行事や季節、地域社会についての体験を通じて、主体的、協働的に取り組む態度を身に付ける。			
担当教員	○三中西 純 ○行縄 昭雄			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	新入生歓迎	2	○新入生歓迎 ◆新入生歓迎会で、先輩としての態度を見せる。	
5	校外学習に行こう	4	○校外学習事前・事後学習 ◆校外学習先を調べ、活動を計画し発表することができる。 □ICT 機器などを使用する。	
6 7	SDG s について理解しよう・行動しよう	5	○SDG s 目標の 17 項目 ◆17 項目から現状を知り、できることを考える。 □ICT 機器などを使用する。 ○江戸街道公園など近隣の地域清掃 ◆羽村市のごみ分別ルールを理解し、分別しながらごみ収集をする □衛生面に配慮する。	
	進路選択について考えよう	2	○実習報告会 ◆友達の実験を聞き、自分の進路について考えることができる。 □学年で類ごとに分かれリモートで発表しあう。	
9	羽村特別支援学校 50 周年について	2	○羽村特別支援学校 50 年の歩みについての調べ学習 ◆羽村特別支援学校 50 年の歴史を知る。 □羽村特別支援学校の歴史に触れ、親しむ。	
10 11 12	修学旅行に行こう	8	○修学旅行事前・事後学習 ◆地域の風習や文化を知り興味、関心をもつ。 ◆自分ができていることを生かしながら、協力して活動に取り組み、他者や社会と関わる力を伸ばす。 □ICT 機器などを使用する。	
	卒業に向けて	2	○卒業アルバム作り ◆卒業アルバム個人写真撮影 □社会人として立派な身だしなみをする。	
	安全を意識して生活しよう	1	○セーフティ教室 ◆インターネットやSNS等を利用する際の危険について理解し、安全に生活することができる。 □18 歳成人のポイントを指導する。	

1	校外学習に	5	○校外学習事前・事後学習
2	行こう		◆校外学習先を調べ、活動を計画し発表することができる。
3			□ICT 機器などを使用する。
	卒業に向けて協力して活動しよう	2	○卒業に向けて
			◆学校における全ての過程を修了することを認識し、仲間と協力して練習したり、活動したりすることができる。
			□後輩たちに先輩らしいメッセージを残す。
	社会人としての常識を理解しよう	2	○働く生活、ストレスマネジメント、ビジネスマナー
			◆ビジネスマナーを確認し、社会人になる意識を高めることができる。
			◆卒業後の社会生活に向けて、自己の健康管理、経済生活、基本的な制度を理解する。
			□外部の方々の話しを今後の人生の参考にする。

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	社会	グループ名	3類型AC	
ねらい	(1) 日本の様々な地域の地理や歴史を知り、自分の生活との関連を知る。 (2) 自分にとってより良い選択について考え、適切に表現する力を養う。 (3) 社会の様子や仕組みに関心をもち、社会の一員としての態度や自覚を育てる。			
担当教員	○上條 正人			
年間授業時数	35 位時間			
使用教科書	「くらしに役立つ社会」(東洋館出版社) 「読んで見て楽しむ日本地図帳増補改訂版」(学研プラス)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	変わりゆく 日本	5	○くらしと社会 ◆新聞やテレビなどのニュースから時事問題を捉える。 ◆時事問題と自らの生活との関わりについて考える。 □税制度など自分の生活と密接に関わるものを扱う。	
6 7	日本を見渡 そう	6	○各都道府県の地理的事象やくらし ◆各地方の独自のくらしや文化について理解する。 ◆産業などにおける自分の住んでいる地域との結びつきを知る。 □写真や動画など、視覚的支援を多く用いる。	
9	選挙を体験 しよう	4	○社会参加ときまり ◆日本の選挙制度や仕組みにおける基本的な事項を理解する。 ◆自分にとってより良い選択を考え、判断する。 □生徒会選挙の時期に合わせ、興味をもって取り組めるようにする。	
10	社会参加と きまり	4	○日本国憲法と諸法律 ◆日本国民の義務や権利について知る。 ◆社会生活で必要となる諸法律について理解する。 □成人年齢の引き下げにまつわる法律など、生徒が身近に感じられるものを扱う。	
11 12	外国の様子	6	○外国の様子 ◆世界の国々の文化を知り、日本との違いを理解する。 ◆国際社会における日本の立ち位置や役割を知る。 □生徒が興味・関心のある国を取り扱う。 □日本と諸外国の違いを分かりやすくするために、表を作成するなど視覚的な教材を使用する。	
1 2 3	日本の経済 のしくみを しろう	10	○くらしと経済 ◆生産から消費までの流れを理解する。 ◆消費者として安全に生活するための知識を身に付ける。 □卒業後に必要となる契約などにまつわるものを扱う。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	社会	グループ名	3 類型 B D	
ねらい	(1) 日本の様々な地域の地理や歴史を知り、自分の生活との関連を知る。 (2) 自分にとってより良い選択について考え、適切に表現する力を養う。 (3) 社会の様子や仕組みに関心をもち、社会の一員としての態度や自覚を育てる。			
担当教員	○平沼 望			
年間授業時数	35 位時間			
使用教科書	「くらしに役立つ社会」(東洋館出版社) 「読んで見て楽しむ日本地図帳増補改訂版」(学研プラス)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	変わりゆく 日本	5	○くらしと社会 ◆新聞やテレビなどのニュースから時事問題を捉える。 ◆時事問題と自らの生活との関わりについて考える。 □税制度など自分の生活と密接に関わるものを扱う。	
6 7	日本を見渡 そう	6	○各都道府県の地理的事象やくらし ◆各地方の独自のくらしや文化について理解する。 ◆産業などにおける自分の住んでいる地域との結びつきを知る。 □写真や動画など、視覚的支援を多く用いる。	
9	選挙を体験 しよう	4	○社会参加ときまり ◆日本の選挙制度や仕組みにおける基本的な事項を理解する。 ◆自分にとってより良い選択を考え、判断する。 □生徒会選挙の時期に合わせ、興味をもって取り組めるようにする。	
10	社会参加と きまり	4	○日本国憲法と諸法律 ◆日本国民の義務や権利について知る。 ◆社会生活で必要となる諸法律について理解する。 □成人年齢の引き下げにまつわる法律など、生徒が身近に感じられるものを扱う。	
11 12	外国の様子	6	○外国の様子 ◆世界の国々の文化を知り、日本との違いを理解する。 ◆国際社会における日本の立ち位置や役割を知る。 □生徒が興味・関心のある国を取り扱う。 □日本と諸外国の違いを分かりやすくするために、表を作成するなど視覚的な教材を使用する。	
1 2 3	日本の経済 のしくみを しろう	10	○くらしと経済 ◆生産から消費までの流れを理解する。 ◆消費者として安全に生活するための知識を身に付ける。 □卒業後に必要となる契約などにまつわるものを扱う。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年
教科等名	数学	グループ名	3類型AC
ねらい	(1) 数や図形などについての基本的な概念や性質を活用し、数学的に解釈したり表現したりする技能を身に付ける。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、筋道を立てて考察したり的確に表現したりする力を養う。 (3) 数学のよさを実感し、事象を数学的に振り返ったり、多面的に捉え検討したりして、より良いものを求める態度を養う。		
担当教員	○伊藤裕章		
年間授業時数	35 単位時間		
使用教科書	「くらしに役立つ数学」(東洋館出版)		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫 備考
4	数と計算	8	○分数の乗法と除法 ◆分数の乗法の意味について理解し、計算することができる。 ◆分数の除法の意味について理解し、計算することができる。 □演習問題を繰り返し解きながら理解を深めていく。
5			
6			
7	図形	5	○縮小と拡大 ◆縮図について理解することができる。 ◆拡大図について理解することができる。 ◆対称な図形について理解することができる。 □作図等の活動を通して、理解を深めていく。
8			
9			
10	体積	9	○立体の体積 ◆体積の単位について理解することができる。 ◆立体や直方体の体積を計算で求めることができる。 ◆角柱や円柱の体積を計算で求めることができる。 □日常生活の事例を取り上げながら学習を進めていく。
11			
12			
1	変化と関係	7	○比例と反比例 ◆比例の関係の意味や性質を理解することができる。 ◆反比例の関係について理解することができる。 □表を用いながら学習を進め、理解を深めていく。
2			
3			
通年	数学的活動	6	○活動や表現 ◆数学的課題を解決するとともに、結果や方法を改善し統合的・発展的に考察することができる。 ◆目的に応じて数学的に表現し伝え合うことができる。 □課題について各々が考え、発言できるように話し合いの仕方を設定する。

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年
教科等名	数学	グループ名	3類型BD
ねらい	(1) 数や図形などについての基本的な概念や性質を活用し、数学的に解釈したり表現したりする技能を身に付ける。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、筋道を立てて考察したり的確に表現したりする力を養う。 (3) 数学の良さを実感し、事象を数学的に振り返ったり、多面的に捉えて検討したりして、より良いものを求める態度を養う。		
担当教員	○進 正裕		
年間授業時数	35 単位時間		
使用教科書	くらしに役立つ数学（東洋館出版）		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫 備考
4 5 6	数と計算	8	○分数の乗法と除法 ◆分数の乗法の意味について理解し、計算することができる。 ◆分数の除法の意味について理解し、計算することができる。 □演習問題を繰り返し解きながら理解を深めていく。
7 8 9	図形	5	○縮小と拡大 ◆縮図について理解することができる。 ◆拡大図について理解することができる。 ◆対称な図形について理解することができる。 □作図等の活動を通して、理解を深めていく。
10 11 12	体積	9	○立体の体積 ◆体積の単位について理解することができる。 ◆立体や直方体の体積を計算で求めることができる。 ◆角柱や円柱の体積を計算で求めることができる。 □日常生活の事例を取り上げながら学習を進めていく。
1 2 3	変化と関係	7	○比例と反比例 ◆比例の関係の意味や性質を理解することができる。 ◆反比例の関係について理解することができる。 □表を用いながら学習を進め、理解を深めていく。
通年	数学的活動	6	○活動や表現 ◆数学的課題を解決するとともに、結果や方法を改善し統合的・発展的に考察することができる。 ◆目的に応じて数学的に表現し伝え合うことができる。 □課題について各々が考え、発言できるように話し合いの仕方を設定する。

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	理科	グループ名	3類型AC	
ねらい	(1) 自然の事物・事象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力と、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
担当教員	○松本 憲光			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「くらしに役立つ理科」(東洋館出版社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	植物の養分と水の通り道	10	○植物の体のつくりと生命を維持する働き ◆観察したり・調べたりする中で、植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることに気付く。 ◆植物には水の通り道があり、主に葉から蒸散により排出されることを理解する。 ◆体のつくり、水の行方、養分をつくる働きについて自分の考えを表現する。 □実験や映像資料の視聴を活動に取り入れる。	
6 7	生物と環境①	8	○生物と環境との関わり ◆生物は、水及び、空気を通して周囲の環境と関わって生きていることに気付く。 □多面的に調べる活動を取り入れる。 □観察、実験などを適宜取り入れる。	
9	月と太陽	5	○月の形の見え方 ◆月の輝いている側に太陽があることに実験を通して気付く。 ◆月の形の見え方は、太陽と月の位置関係で変わること理解する。 □月と太陽の位置に着目して、位置関係を多面的に調べる活動を取り入れる。	
10 11 12	電気の利用	6	○発電や蓄電、電気の変換 ◆電気はつくりだしたり、蓄えたりすることができることに気付く。 ◆実験を通して、電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解する。 □小型電源装置を活用した実験を取り入れる。	
1 2 3	生物と環境②	6	○人と環境 ◆生物の間には、食う食われる関係があることを理解する。 ◆人は、環境と関わり工夫して生活していることを理解し、妥当な考えをつくりだす。 □人と環境との関わりについて調べ、発表する場を設定する。 □持続可能な社会についても関連付けて指導する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	理科	グループ名	3 類型 B D	
ねらい	(1) 自然の事物・事象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力と、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
担当教員	○小俣 晃大			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「くらしに役立つ理科」(東洋館出版社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	植物の養分と水の通り道	10	○植物の体のつくりと生命を維持する働き ◆観察したり・調べたりする中で、植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることに気付く。 ◆植物には水の通り道があり、主に葉から蒸散により排出されることを理解する。 ◆体のつくり、水の行方、養分をつくる働きについて自分の考えを表現する。 □実験や映像資料の視聴を活動に取り入れる。	
6 7	生物と環境①	8	○生物と環境との関わり ◆生物は、水及び、空気を通して周囲の環境と関わって生きていることに気付く。 □多面的に調べる活動を取り入れる。 □観察、実験などを適宜取り入れる。	
9	月と太陽	5	○月の形の見え方 ◆月の輝いている側に太陽があることに実験を通して気付く。 ◆月の形の見え方は、太陽と月の位置関係で変わること理解する。 □月と太陽の位置に着目して、位置関係を多面的に調べる活動を取り入れる。	
10 11 12	電気の利用	6	○発電や蓄電、電気の変換 ◆電気はつくりだしたり、蓄えたりすることができることに気付く。 ◆実験を通して、電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解する。 □小型電源装置を活用した実験を取り入れる。	
1 2 3	生物と環境②	6	○人と環境 ◆生物の間には、食う食われる関係があることを理解する。 ◆人は、環境と関わり工夫して生活していることを理解し、妥当な考えをつくりだす。 □人と環境との関わりについて調べ、発表する場を設定する。 □持続可能な社会についても関連付けて指導する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	音楽	グループ名	3類型AB	
ねらい	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。			
担当教員	○清水 千尋			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「MY SONG 6 訂版」(教育芸術社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	歌唱 鑑賞	16	○歌唱「季節の歌」「翼をください」 ◆曲想や歌詞の内容を理解することができる。 □曲の雰囲気や歌詞の意味を言葉で伝える。 ○鑑賞「交響曲」「協奏曲」「管楽器」 ◆曲の特徴や雰囲気を味わい、楽器の音色の変化について理解する。 ◆作曲家や時代背景などについて知る。 □映像付きの音源で視覚的に感じ取れるようにする。	
6 7	器楽	12	○器楽演奏「合奏」 ◆楽器の特色や音色が分かり、音の重なりを意識して演奏する。 ◆自分が演奏する部分を覚え、責任をもって演奏することができる。 □色付き楽譜を使用する。	
9	鑑賞 器楽	8	○鑑賞・器楽「世界の音楽」 ◆多様な世界の音楽を聴き、自分の好きなジャンルを見付けることができる。 ◆楽器の種類やそれぞれの文化、正しい演奏方法を知る。 □多様な世界の音楽に触れ、興味をもてるようにする。	
10 11 12	身体表現 創作 鑑賞	18	○身体表現「ボディーパーカッション」 ◆体を動かしながら、正確なリズムを取ることができる。 □身体の部位で音の違いを出しながら演奏する。 ○創作活動 ◆オリジナルのメロディーやリズムを創作することができる。 □参考例を挙げて、選択できるようにする。 ○鑑賞「日本の音楽」 ◆日本の伝統的な音楽を聴き、自分の好きな音色を見付ける。 □楽器の特徴を捉えながら日本の文化を学ぶ。	
1 2 3	歌唱	16	○歌唱「卒業式の歌」 ◆歌詞の内容から曲想について考え歌唱する。 ○歌唱「君が代」 ◆式典に向けて、国歌に親しむ。	

		<p>◆式典での歌唱時のマナーを意識する。</p> <p>□曲の内容や演奏場面を考えられるようにする。</p>	
--	--	---	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	音楽	グループ名	3類型CD	
ねらい	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。			
担当教員	○進 正裕			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	MY SONG 6 訂版 (教育芸術社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	歌唱 鑑賞	16	○歌唱「季節の歌」「翼をください」 ◆曲想や歌詞の内容を理解することができる。 □曲の雰囲気や歌詞の意味を言葉で伝える。 ○鑑賞「交響曲」「協奏曲」「管楽器」 ◆曲の特徴や雰囲気を味わい、楽器の音色の変化について理解する。 ◆作曲家や時代背景などについて知る。 □映像付きの音源で視覚的に感じ取れるようにする。	
6 7	器楽	12	○器楽演奏「合奏」 ◆楽器の特色や音色が分かり、音の重なりを意識して演奏する。 ◆自分が演奏する部分を覚え、責任をもって演奏することができる。 □色付き楽譜を使用する。	
9	鑑賞 器楽	8	○鑑賞・器楽「世界の音楽」 ◆多様な世界の音楽を聴き、自分の好きなジャンルを見付けることができる。 ◆楽器の種類やそれぞれの文化、正しい演奏方法を知る。 □多様な世界の音楽に触れ、興味をもてるようにする。	
10 11 12	身体表現 創作 鑑賞	18	○身体表現「ボディーパーカッション」 ◆体を動かしながら、正確なリズムを取ることができる。 □身体の部位で音の違いを出しながら演奏する。 ○創作活動 ◆オリジナルのメロディーやリズムを創作することができる。 □参考例を挙げて、選択できるようにする。 ○鑑賞「日本の音楽」 ◆日本の伝統的な音楽を聴き、自分の好きな音色を見付ける。 □楽器の特徴を捉えながら日本の文化を学ぶ。	
1 2 3	歌唱	16	○歌唱「卒業式の歌」 ◆歌詞の内容から曲想について考え歌唱する。 ○歌唱「君が代」 ◆式典に向けて、国歌に親しむ。	

		<p>◆式典での歌唱時のマナーを意識する。</p> <p>□曲の内容や演奏場面を考えられるようにする。</p>	
--	--	---	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	美術	グループ名	3類型A B	
ねらい	(1)材料や用具を効果的に扱い、意図に応じて表現する力を育てる。 (2)造形的な良さや美しさを感じ取り、豊かに発想し構想を練る力を育てる。 (3)鑑賞を通じて作品の見方や感じ方を深め、豊かな情操を培う。			
担当教員	○薄田 文子			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「ファインアート 新造形と美術 表現・鑑賞」(浜島書店)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	描画 平面構成	12	○色彩の性質 ◆色の性質を理解し、イメージから伝わる色や効果的な配色を学ぶ。 ◆色の組み合わせを楽しみながら制作する。 ◆イメージにあった、効果的な配色を考えて表現する。 □パワーポイント等、視覚教材を用いて提示する。 ○構図 ◆平面表現による視点を意識し、画面の配置バランスを考える。 □カメラや写真などを使い、様々な構図があることを示す。	
6 7	メディア表現	16	○タブレット端末を使った制作 ◆現代美術の表現を知る。 ◆タブレット端末を適切に扱い、制作に生かす。 ◆作品を鑑賞し、表現の多様性を楽しむ。 □マンガイラストなど興味をもちやすい教材を提示する。	
9 10	立体造形 版画	14	○立体造形 ◆鑑賞を通して、日本の造形美を知る。 ◆材質の特性を理解し、工夫して制作する。 □立体と平面の違いを実物や写真などを用いて示す。 ○凹版画 ◆鑑賞を通して、多様な版画表現を知る。 ◆新しい版画表現を学び、表現の幅を広げる。 ◆道具の適切な扱い方を身に付け、表現に生かす。 □凹版の仕組みをイラスト付きで示す。	
11 12	工芸	12	○木彫 ◆使用する素材や道具の特性を生かし、工夫して表現する。 ◆多様な表現に触れ、造形的な良さや美しさを感じ取る。 □彫刻刀の種類による彫跡の違いを見せる。	
1 2 3	卒業に向けて	16	○自分の好きな表現 ◆素材の効果的な扱いを工夫し制作する。 ◆表現したい対象や事象を具体的に自分なりのイメージを捉えて表現する。 □振り返って制作できるよう参考作品や材料を用意する。 ○卒業に向けて～共同制作～ ◆卒業に向けて、友達と協力して大きな平面作品を作り上げる。 □制作パートを分け、活動を分かりやすくする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	美術	グループ名	3類型CD	
ねらい	(1)材料や用具を効果的に扱い、意図に応じて表現する力を育てる。 (2)造形的な良さや美しさを感じ取り、豊かに発想し構想を練る力を育てる。 (3)鑑賞を通じて作品の見方や感じ方を深め、豊かな情操を培う。			
担当教員	○原田 智代			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「ファインアート 新造形と美術 表現・鑑賞」(浜島書店)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	描画 平面構成	12	○色彩の性質 ◆色の性質を理解し、イメージから伝わる色や効果的な配色を学ぶ。 ◆色の組み合わせを楽しみながら制作する。 ◆イメージにあった、効果的な配色を考えて表現する。 □パワーポイント等、視覚教材を用いて提示する。 ○構図 ◆平面表現による視点を意識し、画面の配置バランスを考える。 □カメラや写真などを使い、様々な構図があることを示す。	
6 7	メディア表現	16	○タブレット端末を使った制作 ◆現代美術の表現を知る。 ◆タブレット端末を適切に扱い、制作に生かす。 ◆作品を鑑賞し、表現の多様性を楽しむ。 □マンガイラストなど興味をもちやすい教材を提示する。	
9 10	立体造形 版画	14	○立体造形 ◆鑑賞を通して、日本の造形美を知る。 ◆材質の特性を理解し、工夫して制作する。 □立体と平面の違いを実物や写真などを用いて示す。 ○凹版画 ◆鑑賞を通して、多様な版画表現を知る。 ◆新しい版画表現を学び、表現の幅を広げる。 ◆道具の適切な扱い方を身に付け、表現に生かす。 □凹版の仕組みをイラスト付きで示す。	
11 12	工芸	12	○木彫 ◆使用する素材や道具の特性を生かし、工夫して表現する。 ◆多様な表現に触れ、造形的な良さや美しさを感じ取る。 □彫刻刀の種類による彫跡の違いを見せる。	
1 2 3	卒業に向けて	16	○自分の好きな表現 ◆素材の効果的な扱いを工夫し制作する。 ◆表現したい対象や事象を具体的に自分なりのイメージを捉えて表現する。 □振り返って制作できるよう参考作品や材料を用意する。 ○卒業に向けて～共同制作～ ◆卒業に向けて、友達と協力して大きな平面作品を作り上げる。 □制作パートを分け、活動を分かりやすくする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	保健体育	グループ名	3類型	
ねらい	<p>(1) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。</p>			
担当教員	○行縄 昭雄			
年間授業時数	175 単位時間			
使用教科書	新編 新しい保健体育(東京書籍)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
通 年	体づくり運動	89	<p>○周回走・時間走・インターバル走</p> <p>○ラジオ体操・筋力トレーニング</p> <p>◆決められた周回や時間を走りきることができる。</p> <p>◆体の動き、力強い動きを高めることができる。</p> <p>□記録を意識して運動に取り組めるようにする。</p>	
4 5 6 7 9	集団行動 体力テスト	4 6	<p>○集団行動(4列横隊の集合・整列、方向変換等)</p> <p>◆仲間や周りの人の動きを意識し、協力して運動したり、行動したりすることができる。</p> <p>□集団行動の意味を知り、安全に行動できるようにする。</p> <p>○体力テスト(握力、上体起こし、長座体前屈、持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、反復横とび)</p> <p>◆自己の体力を知り、体力の向上を意識して運動することができる。</p> <p>□正しい方法で測定することができるように言葉掛けする。</p>	
	保健	2	<p>○熱中症の対処法と予防について</p> <p>◆熱中症について知り、予防や対策を学ぶことができる。</p> <p>◆心肺蘇生法について知ることができる。</p> <p>□ICT機器を用いて、熱中症の対処と心肺蘇生法について動画を見ながら学び、実践につなげられるようにする。</p>	
	バドミントン	10	<p>○基本的技能(攻撃、守備)・ゲーム</p> <p>◆基本的な技能を身に付け、仲間と協力して取り組むことができる。</p> <p>□段階別に基本的技術の向上を目指すことができるようにグループを分けて学習を進めていく。</p>	
	ユニバーサルスポーツ	2	<p>◆ルールを理解し、ゲームすることができる。</p> <p>○障害者スポーツ、ニュースポーツ、パラリンピックの種目</p> <p>◆様々なスポーツについて理解し、取り組むことができる。</p>	

	水泳	11	<input type="checkbox"/> ルールを図や手本を見せることでわかりやすく伝え、積極的にゲームに参加できるようにする。 <input type="checkbox"/> 安全な水中活動 <input type="checkbox"/> バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、クロール <input checked="" type="checkbox"/> 安全に、水中での活動ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 各種泳法を身に付け、自分のペースで長い距離を泳いだり速く泳いだりすることができる。 <input type="checkbox"/> 個々の体調に合わせて進めていく。 <input type="checkbox"/> ルールやマナーを繰り返し伝え、安全に行えるようにする。
10 11 12	バレーボール	18	<input type="checkbox"/> 基本技能（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）・ゲーム <input checked="" type="checkbox"/> 基本的な技能を身に付け、仲間と協力して取り組むことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> ルールを理解し、ゲームすることができる。 <input type="checkbox"/> 生徒の技能に応じて、ボールの種類を考えていく。
	ソフトボール	6	<input type="checkbox"/> 基本技能、ゲーム <input checked="" type="checkbox"/> 球技（ベースボール型）の基本的な技能を身に付け、仲間と協力して取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> ボールやバットの種類を選択できるようにし、個々に合わせた用具を使用できるようにする。
	走幅跳	10	<input checked="" type="checkbox"/> ルールを理解し、試合をすることができる。 <input type="checkbox"/> 基本技能（助走、フォーム） <input checked="" type="checkbox"/> 助走をいかして力強く飛ぶことができる。 <input type="checkbox"/> 手本を見せ、正しいフォームを意識できるようにする。
1 2 3	長距離走・リレー	10	<input type="checkbox"/> 基本技能（スタート、フォーム）・リレー <input checked="" type="checkbox"/> 個人やチームのタイムを意識し、速く走ろうとすることができる。 <input type="checkbox"/> 距離や時間を知らせ、見通しを持って運動に取り組むことができるようにする。 <input type="checkbox"/> チームで協力して運動に取り組むことができるように、話し合いやチームでの練習の時間を意識的に設ける。
	身体表現	5	<input type="checkbox"/> 身体表現・ダンス <input checked="" type="checkbox"/> 音楽を意識し、テンポやリズムに合わせて身体を動かすことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 振りや動きを合わせながら表現することができる。 <input type="checkbox"/> ICT機器を利用し、動きを分かりやすく伝える。
	保健	2	<input type="checkbox"/> がん教育 <input checked="" type="checkbox"/> がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める。 <input type="checkbox"/> がんの専門家（外部講師）の活用。

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	職業	グループ名	3類型A B C D	
ねらい	(1)進路決定をしていく中で、自分の「働く生活」について考える力を育む。 (2)就労に伴う社会制度について学び自分の「生活設計」を考える力を育む。 (3)現代社会の様々な状況を知り「ライフスキル」を育む。			
担当教員	○相磯 圭祐、○尾崎 智			
年間授業時数	105 単位時間			
使用教科書	ひとりだちするためのライフキャリア教育豊かな自立生活への第一歩 (日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
通 年	【朝の職業】 自分の事を伝えよう 就職活動へ 卒業に向けて お役立ちドリル	70	【朝の職業】 ○プロフィール、リフレーミング、求職登録票作り ◆自分の希望や、強み弱み、配慮してほしいことをまとめ、伝えられるようにする。 ○履歴書作り、面接練習 ◆就職活動に向けての準備をする。 ○私の移行計画、将来設計 ◆将来の働く生活について考え、伝えることができる。 □通年 個人ファイル使用、便箋使用 題材により、ゲストティーチャーを招いて行う。 個別に応じた資料や教材を使用。 就労支援センター講座、ビジネスマナー講座 身だしなみセミナー	通年 個人ファイル使用 便箋使用 題材により、ゲストティーチャーを招いて行う。
4	【職業】 オリエンテーション	2	【職業】 ○年間スケジュール	個別に応じた資料や教材を使用。 就労支援センター講座 ビジネスマナー講座 身だしなみセミナー
5	現場実習と進路選択	3	○現場実習の手順と仕組み、仕事選びについて ◆現場実習を通して、仕事選びのポイントを見付け、自分の進路選択について考える。 □ICT 機器などの活用しより理解しやすくする。	
6	就職活動にむけて①	5	○求職登録、求人票 ◆それぞれの意味を理解し、自分の就職活動に向けて準備をする。 □ICT 機器などの活用しより理解しやすくする。	
7	就職活動にむけて②	3	○履歴書、採用選考 等 ◆それぞれの意味や仕組み等を知り、自分の就職活動にむけて準備をする。 □ICT 機器などの活用しより理解しやすくする。	
9	福祉サービスを知らう	5	○福祉サービスの仕組み ◆身近で使えるサービスや仕組みを知る。 □個々の生徒に合せた教材を使用する。	身だしなみセミナー

10 11	働く生活を考 えよう	6	<p>○将来設計、趣味、余暇、健康管理 等</p> <p>◆働く生活について考える。</p> <p>□個々の生徒に合せた教材を使用する。</p>	
12 1	私の移行計画 「私のこれから」	5	<p>○コミュニケーション・トラブル対応、就労支援機関</p> <p>◆社会人として、適切なコミュニケーションや、卒業後想定されるトラブルについて知り、適切に対応できるようにする。</p> <p>□ICT 機器などの活用しより理解しやすくする。</p>	
2 3	もうすぐ社会 人	6	<p>○私の移行計画「私のこれから」作成</p> <p>◆自分の働く生活について計画を作る。</p> <p>□個々の生徒に合せた教材を使用する。</p> <p>○社会人に向けた準備</p> <p>◆身だしなみ、法律、罰則、人権、差別、ハラスメント等、社会を取り巻く事柄を知る。</p> <p>◆ライフキャリア、キャリアアップ、ライフイベント等、これからの人生について考える。(退職、再就職、パートナーとの生活等)</p> <p>□年間を通して、必要に応じてゲストティーチャーを招いて授業を行う。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	家庭	グループ名	3類型	
ねらい	(1)生活の営みに係る見方、考え方を働かせ、体験的な活動と知識を関連付けて、日常生活で実践する力を身に付ける。 (2)衣食住などの実習等の結果を図表や言葉を使って整理し、課題解決する。 (3)実習を通して身に付けた知識や技能を生活で活用し、社会や生活の変化に対応できる態度を養う。			
担当教員	○梅田 礼実			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	「くらしに役立つ 家庭」(東洋館出版社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	健康的な食生活	14	○五大栄養素について学習し、それを基に主催のメニューを考える。 ◆五大栄養素について学習し、それを基に主菜のメニューを考えることができる。 □メニューを考えたときにインターネット等を使って自分たちで調べるように促す。	
6 7	被服製作	14	○ミシンを用いた簡単な製作 ◆ミシンを使い、目的に応じた縫い方及び安全な使い方について知る。 □製作キットを使って簡単に作ることができる題材にする。	
9	被服製作	6	○ミシンを用いた簡単な製作 ◆ミシンを使い、目的に応じた縫い方及び安全な使い方について知る。 □製作キットを使って簡単に作ることができる題材にする。	
10 11	用途に応じた食品の選択	16	○食品の保存方法と保存期間に関係、ごみを適切に処理する必要について知る。 ◆食品を選択するとき、様々な条件を考えて選択することが大切であることが分かる。 □具体例を挙げ、身近な問題として捉えることがふえきるようにする。	
12	食べて元気 ご飯とみそ汁	6	○伝統的な日常食であるご飯とみそ汁を作る。 ◆栄養バランスを考えたみそ汁を作ることができる。 □ご飯は朝のうちに米を研いでセットしておく。	
1	まかせて、今日の食事	6	○自分たちで考えたメニューを作る。 ◆自分たちだけでレシピを作り、それに基づいて調理ができる。 □必要な調理器具を準備するところから指導する。	
2 3	生活から考えるSDGs	8	○SDGsについて知る。 ◆消費生活が環境に及ぼす影響について理解することができる。 □動画を交えながら身近な問題として考えられるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年
教科等名	外国語	グループ名	3類型A B C D
ねらい	(1) 挨拶や要求に関する表現を言ったり、聞き取ったりすることで、お互いの気持ちや態度を伝え合う力を養う。 (2) 外国語でコミュニケーションを図る能力の基礎を養う。		
担当教員	○山中 基弘		
年間授業時数	35 単位時間		
使用教科書	「NEW ABC of ENGLISH 会話編」(創英社/三省堂)		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫 備考
4	紹介表現	6	○自分のことを表す表現 ○既習表現の復習
5	英語で伝えてみよう		◆自分の好きなことを英語で伝える、表現する。 ◆相手の好きなことを聞き取る。 □ワークシートなど有効に活用する。 ○買い物場面の復習 ◆Can I have ~? I want ~. I like ~. を使った表現を繰り返し練習し、伝えること聞き取ることに慣れる。 □ICT機器、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。
6	英語で会話してみよう①	4	○日常会話の表現① ◆海外の滞在や、外国の方々とのコミュニケーションで活用できる表現を知る。May I~, I need~ □教員が実例を示す、ワークシートなどを用意する。
7	挨拶や気持ちを伝えてみよう①	3	○挨拶、感情や体調を表す表現① ◆How are you doing? I am ~. You look ~. などの表現を用いて会話の練習を行う。 □ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。
9	数字・金額・色の表現を使おう	4	○数字と金額の表現 ○色の表現 ◆1~9999までの数表現を覚える。 ◆色の表現を使って対話する。Do you have ○○? Yes/No □ワークシートなど個別の支援教材を用意する。
10	英語で会話してみよう②	3	○日常会話の表現② ◆海外の滞在や、外国の方々とのコミュニケーションで活用できる表現を知る。Excuse me? May I use ○○? Where is a restroom? など5W1H □ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。
11	英語で注文してみよう	4	○商品や食材の注文練習 ◆欲しい物、購入したいものを英語で相手に伝える。相手の話した英語を聞き取る。Let me get ○○. I want ○○. □ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。

12	外国の文化を知ろう	3	<p>○外国の文化</p> <p>◆世界の伝統的な食べものや衣装を知り、興味をもった食べ物や文化について互いに伝え合うことができる。</p> <p>□ICT機器などの視聴覚教材を有効に活用する。</p> <p>◆体験的な活動を取り入れ、理解を促す。食材や料理に関する表現 Coffee smells good! Hamburger tastes good! などの表現を使用してみる。</p> <p>□ICT機器などの視聴覚教材を有効に活用する。 体験的な活動を取り入れ、理解を促す。</p>	ICT 機器
1	英語で会話してみよう③	3	<p>○日常会話の表現③</p> <p>◆海外の滞在や、外国の方々とのコミュニケーションで活用できる表現を知る。Can I try this on? Where is the bus stop?など</p> <p>□ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。</p>	ICT 機器
2 3	外国の文化を知ろう	5	<p>○アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスなどの言語と文化</p> <p>◆各国の言語、簡単な挨拶表現、歴史、文化、特産品などを知る。</p> <p>□ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	情報	グループ名	3類型A B C D	
ねらい	(1) 身近にある情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技術を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (2) 身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
担当教員	○山中 基弘			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「見てわかる情報モラル」(日本文教出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	情報社会の 問題解決	6	○情報について ◆情報を取り扱いに伴うルール、マナー、責任について理解する。 ◆情報機器の取り扱い方について理解する。 □実際の事例を扱い、適切な使用の仕方について理解を深める。 □トラブルにつながる危険性について、判断できるようにする。 ○個人情報の管理 ◆個人情報の適切な管理方法について知り、責任について考える。 ◆個人情報に関する法規や制度、罰則を理解する。 □実際の判例を基に、個人情報について考え、正しく扱えるようにする。	
6 7	情報社会の 問題解決 コミュニケーションと 情報デザイン	6	○日常の中にある「情報」(情報化社会) ◆情報の収集と社会生活への活用(情報リテラシー)について考える。 ◆身近にある情報や情報技術の活用と社会参加について考える。 □情報の活用の仕方について、テーマを決め、話し合うようにする。実際の場面に合う課題を用意する。 ○情報デザインの役割 ◆情報デザインの社会的な役割と特徴について考える。 □情報デザインについて、テーマを決め、話し合うようにする。	
9	コミュニケーションと 情報デザイン	4	○文書作成ソフトの活用 ◆文書作成ソフトの入力や保存、出力の方法を習得する。 ◆文書作成ソフトを用いた文書デザインの表現技術を身に付ける。 □基本操作を習得するための課題に、繰り返し取り組めるようにする。	
10 11 12	情報通信ネ ットワーク とデータの 活用	11	○情報の収集と活用 ◆必要に応じた情報の収集、処理及び発信方法を理解する。 ◆様々な情報機器を取り扱う際に発生する著作権の取り扱いと責任について考える。 □身近にある利用方法を通じて、情報の発信や著作権の扱いにつ	

			いて考えられるようにする。	
1 2 3	情報通信ネットワークとデータの活用	8	<input type="checkbox"/> 表計算ソフトの基本操作 <input checked="" type="checkbox"/> 表計算ソフトを使った基本的な入力や保存の方法を習得する。 <input checked="" type="checkbox"/> 表計算ソフトを使った数値データの集積と分析を行う。 <input type="checkbox"/> 基本操作を習得するための課題に、繰り返し取り組めるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	特別活動	グループ名	3 類型	
ねらい	(1)係活動等、自己の役割を理解し、主体的に最後までやり遂げる力を身に付け、法律や社会規範を守って活動できる力を育む。 (2)自他の人権を互いに意識し、尊重し合い、協力できる力を育む。 (3)将来への希望をもち生きる力を育む。			
担当教員	○山中 基弘、行縄 昭雄、上條 正人、松本 憲光			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	自分たちで学級を作ろう	2	<input type="checkbox"/> 1学期の個人目標、学級目標、係決め、各種掲示物作成 <input checked="" type="checkbox"/> 自己の目標を決定し、やり遂げる意識をもつことができる。 <input type="checkbox"/> 具体例を挙げながら、設定目標を自己決定できるようにする。	
	係活動を実際に行おう	2	<input type="checkbox"/> 係活動について <input checked="" type="checkbox"/> 自己の目標や学級の係等を、率先して行うことができる。 <input type="checkbox"/> 意欲的に係活動に取り組めるように動機付けを行う。 達成度が視覚的に分かるようにする。	
5	社会のルールやマナーを守ろう	3	<input type="checkbox"/> ルールを守った安全で安心な生活 <input checked="" type="checkbox"/> 社会のルールを守り、安全で安心な生活を送ることができる。 <input type="checkbox"/> ロールプレイを行い、ルールやマナーについて学ぶ機会とする。	
6	自分や仲間を大切にしよう①	4	<input type="checkbox"/> 役割の主体的な実践と協力 <input checked="" type="checkbox"/> 社会のルールに沿って、主体的に活動することができる。 <input type="checkbox"/> 役割を明確化し、お互いを称賛し合う場面を設定する。	
7	話し合い活動をすすめよう	2	<input type="checkbox"/> 自他に関すること、社会規範について① <input checked="" type="checkbox"/> いじめ防止について、正しく理解し、社会的規範に沿って協力して活動ができる。 <input type="checkbox"/> 映像などの視覚的資料を活用する。	
	休業中の目標を立てよう	1	<input type="checkbox"/> 1学期のまとめ <input checked="" type="checkbox"/> 自己の目標や、学級での目標を振り返り、課題点や到達点を明確にすることができる。 <input type="checkbox"/> 夏休みの目標決め <input checked="" type="checkbox"/> 学校生活最後の長期休業期間の目標を、適切に立てることができる。 <input type="checkbox"/> 活動内容に見通しをもたせ、生徒の主体性を引き出す。	

9	自分で気付いて環境を築こう	4	<p>○2学期の個人目標、学級目標、係決め</p> <p>◆自己の係をやり遂げ、協力し合って学級の環境作りを目指し、清掃等係活動を積極的に行うことができる。</p> <p>□具体例を挙げながら、設定目標を自己決定できるようにする。</p>
10 11	自分や仲間を大切にしよう②	6	<p>○自他に関すること、社会規範について②</p> <p>◆犯罪被害について、正しく理解し、社会規範に沿って協力して活動ができる。</p> <p>◆話し合い活動の中で、自他の意見を正しく理解し、互いに尊重し合って活動をすすめることができる。</p> <p>□映像などの視覚的資料を活用する。</p>
12	課題点を見つけよう	3	<p>○1・2学期のまとめ</p> <p>◆自己の目標や、学級・学年での目標を振り返り、課題点や到達点を明確にすることができる。</p> <p>□活動内容に見通しをもたせ、生徒の主体性を引き出す。</p>
1	ライフキャリアを高めよう	2	<p>○3学期の個人目標、学級目標、係決め</p> <p>◆自己の目標や学級での係を率先して行うことができる。</p> <p>○活動全体の進行、活動内容の企画、実践</p> <p>◆社会規範について正しく理解し、協力し合って活動することができる。</p> <p>□活動内容のポイントを端的に伝え、生徒が主体的に取り組めるようにする。</p>
2	社会に目を向けよう	4	<p>○進路先や将来について</p> <p>◆自分自身や仲間の進路先を知ると共に、仕事内容や将来について話し合い、共有することができる。</p> <p>□話し合い活動を通じて、社会生活に見通しがもてるように支援する。</p>
3	将来へ向けてはばたこう	2	<p>○1年間のまとめ</p> <p>◆自己の目標や、学級・学年での目標を振り返り、課題点や到達点を明確にすることができる。</p> <p>◆自他を思いやり、協力し合って活動し、学校生活を締めくくることができる。</p> <p>◆今まで支えてくれた人々に対し、感謝の気持ちを表すことができる。</p> <p>□活動内容のポイントを端的に伝え、生徒が主体的に取り組めるようにする。</p>

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	総合的な探究の時間	グループ名	3類型	
ねらい	(1) 季節や地域社会に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識、技能を身に付け、個々の実生活に活用していく。 (2) 課題の解決に向けての仮説を立てたり、まとめたりすることを通じて表現力を身に付ける。 (3) 各行事や季節、地域社会についての体験を通じて、主体的、協働的に取り組む態度を身に付ける。			
担当教員	○三中西 純 ○行縄 昭雄			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	新入生歓迎	2	○新入生歓迎 ◆新入生歓迎会で、先輩としての態度を見せる。	
5	校外学習に行こう	4	○校外学習事前・事後学習 ◆校外学習先を調べ、活動を計画し発表することができる。 □ICT 機器などを使用する。	
6 7	SDG s について理解しよう・行動しよう	5	○SDG s 目標の 17 項目 ◆17 項目から現状を知り、できることを考える。 □ICT 機器などを使用する。 ○江戸街道公園など近隣の地域清掃 ◆羽村市のごみ分別ルールを理解し、分別しながらごみ収集をする □衛生面に配慮する。	
	進路選択について考えよう	2	○実習報告会 ◆友達の実験を聞き、自分の進路について考えることができる。 □学年で類ごとに分かれリモートで発表しあう。	
9	羽村特別支援学校 50 周年について	2	○羽村特別支援学校 50 年の歩みについての調べ学習 ◆羽村特別支援学校 50 年の歴史を知る。 □羽村特別支援学校の歴史に触れ、親しむ。	
10 11 12	修学旅行に行こう	8	○修学旅行事前・事後学習 ◆地域の風習や文化を知り興味、関心をもつ。 ◆自分ができることを生かしながら、協力して活動に取り組み、他者や社会と関わる力を伸ばす。 □ICT 機器などを使用する。	
	卒業に向けて	2	○卒業アルバム作り ◆卒業アルバム個人写真撮影 □社会人として立派な身だしなみをする。	
	安全を意識して生活しよう	1	○セーフティ教室 ◆インターネットやSNS等を利用する際の危険について理解し、安全に生活することができる。 □18 歳成人のポイントを指導する。	

1	校外学習に	5	○校外学習事前・事後学習
2	行こう		◆校外学習先を調べ、活動を計画し発表することができる。
3			□ICT 機器などを使用する。
	卒業に向けて協力して活動しよう	2	○卒業に向けて
			◆学校における全ての過程を修了することを認識し、仲間と協力して練習したり、活動したりすることができる。
			□後輩たちに先輩らしいメッセージを残す。
	社会人としての常識を理解しよう	2	○働く生活、ストレスマネジメント、ビジネスマナー
			◆ビジネスマナーを確認し、社会人になる意識を高めることができる。
			◆卒業後の社会生活に向けて、自己の健康管理、経済生活、基本的な制度を理解する。
			□外部の方々の話しを今後の人生の参考にする。